

トップに聞く！

あなたにも私にも
笑顔と感動を！

株式会社 ジェネック
代表取締役社長

牛山 啓二氏

取引店／福岡銀行 門司支店

時代変化と共に
進化・変革し、
新しい物流を創出する

お客様のニーズを敏感にかつ的確に感じ取りながら、従来の物流や輸送に変革を促し、新技術を取り込んだ新しい物流を創出する。この想いを実現するために、昨年4月からスタートした中期経営計画（5ヶ年計画）に併せて、我が社の目指す姿を「ジェネックの樹」として表しました。この「ジェネックの樹」は、会社と

▲香椎バンプールにて（左から牛山社長、柴戸頭取）



我が社は内航海運事業、物流事業、そして港湾運送事業の三つの事業が支えています。まず内航海運事業では、主に国内最大手の太平洋セメント株式会社のセメント輸送業務を担っています。次に物流事業では、近年北部九州で

一般貨物の輸送から 特殊貨物の輸出入までを展開

地区を代表する地域イベントを大いに盛り上げることで、地域社会の発展と社員の連帯感の醸成に寄与しています。

(※)親会社である日本郵船株式会社が主催する問題解決ワークショップ

社員一人ひとりが目指す姿を樹木の形に見立てたもので、我が社が大切にしている価値観や日々実践する姿勢などの重要項目を「12本の根」に、会社の方針と社風は「幹」と「枝」に、そして会社の目的や願いを「果実」に見立てています。「広く深く根を張るほど、強くしなやかな幹になり、結果たくさん美味しい実がなる。社員一人ひとりがこの樹に関わり、育ててほしい」という役員全員の願いが集約されており、全社員への浸透を図っています。

例えば、根の一つ「強い人財の育成」では、「私たちにきつとできる」という前向きな姿勢を全社員に根付

見学風景



▲カメラターミナル見学



▲カメラターミナル見学



▲福岡ロジテックセンター見学

ジェネックシールド



大切な荷物を
熱や結露から守る!



▲使用例



「GENEQの樹」というビジョンを掲げ、新たな挑戦を続けています。

◀牛山社長

ニュージージラント向けの中古自動車輸出が伸びていることから、我が社も門司地区に車両検査場を併設した大型モータープールを開設するなど、中古自動車の輸送業務体制を強化しています。また、博多地区では液晶・半導体関連設備や日本産ビール、生鮮食品などの輸送業務を担っています。そして港湾運送事業では、門司地区における工業原料や食料原料、完成車などの大型在来貨物船の荷役、博多地区におけるカメラア

GENEQの樹

～ドラマティック・ジェネック～

あなたにも私にも
笑顔と感動を!

満足

信頼

喜び

感謝

幸せ

優れた人財

安心・安全の
ジェネックブランド

圧倒的な競争力

時代変化と共に進化

強くしなやかな エキスパート集団

明るく、楽しく 活気のある職場

日本と世界を結び
グローバルな物流事業を
展開しておりますね。

▶柴戸頭取

主な事業

セメント輸送



コンテナ輸送



自動車船の荷役



人工衛星の輸送



かせるための仕組みとして目標制度やQ・I・A・W・A・R・D(社員表彰制度)を取り入れています。「改善文化」と「高品質な作業技術」では、コラボラボ(※)への参加や、安全大会や社内フォークリフト大会の実施により、全社にわたって安全文化が定着した結果、多くのお客様から表彰していただけるまでに至っています。

また「社会貢献」では、「門司みなと祭」や「門司港ミニミニ・トライアスロン大会」など、門司

- 権限委譲
- 公正な考課・給与制度
- 自己実現を応援(目標制度)
- 強い人財の育成
- 個人の尊重
- 高品質な作業技術
- 現地・現物・現実
- 改善文化(5S、見える化、3M)
- 言える化・聴ける化
- チームワーク・社内行事
- 社会貢献
- 伝統



この「ジェネック
シールド」をドライコ
ンテナ(常温コンテナ)の内
部壁面に装着することで、コンテ
ナ内の高温・結露を防ぐことがで
きるようになり、リーファーコンテ
ナ(冷凍・冷蔵貨物を保冷するコ
ンテナ)を使うよりも物流コスト
を削減でき、かつ電力を使用しな
いことからCO₂の排出も削減で
きます。また、短時間で装着でき
る簡易性も特長で、温度変化に敏
感な商材や多湿を嫌う貨物を輸
送するのに最適だと、お客様から
ご好評いただいています。

また、お客様からお預かりした
荷物については、単に輸送だけで
はなく、保管及び流通加工も行っ
ています。その拠点となっているの
が「福岡ロジテックセンター」(福
岡市東区)と「鳥栖ロジテックセン
ター」(佐賀県鳥栖市)であり、両
施設の持つ低温機能を活かして
ワインや食品、医療品などの出入
庫や保管から、仕分けや再梱包、
ラベル貼りなどの流通加工を行っ
ています。

我が社では単にモノを運ぶだけ
ではなく、社員が創意工夫し
続けることで、新しい物流を
創出することを目指していま
す。この目標に社員全員で取
り組み、多くのお客様、地域社
会、そして社員に笑顔と感動
を届けられる会社でありたい
と考えています。

▲福岡ロジテックセンター前 前列左から福山推進役、倉敷准執行役員、白水執行役員、松村取締役常務執行役員、牛山社長、柴戸頭取、中川支店長(福岡銀行)、落石執行役員

ライン株式会社(日本郵船グルー
プ)が運航する韓国・釜山航路の
荷役など、コンテナ船やRO/
RO船の荷役を行っています。

我が社の特色は、一般的な貨物
の輸送や荷役作業を行うだけで
なく、高度な輸送技術が必要と
する特殊な製品や設備の輸送
サービスを提供していることにあ
ります。これまで、海外アーティス
トの九州公演用舞台装置の輸送
や、北九州空港から種子島宇宙
センターへの人工衛星の輸送など
を行ってきたほか、最近では昨年
11月に福岡市で開催された、ア
ジア初の国際ヨットレース
「ルイ・ヴィトン・アメリ
カズカップ・ワールド
シリーズ」に出場

付加価値の高い物流サービスで お客様の貨物を丁寧にお届け

我が社では現在、さらに付加価

値の高い物流サービスを提供
するために物流新技術の開発
に取り組んでいます。その代表
例が、自社開発した高性能断
熱シート「ジェネックシールド」
を活用した物流サービスです。

◎インタビューを終えて

当社は創業以来、永年培われてこられた物流の技術とノウハウを活かし、
北部九州だけでなく海外においても総合物流企業として確固たる地位を築いて
おられます。

輸出入に関する専門知識や特殊輸送のノウハウが要求される世界最高峰の
国際ヨットレース大会において、全てのチームの艇と関連貨物の搬出入を行わ
れたことは、世界的に当社のクオリティが認められている証です。

今後も全社員一丸となって、お客様と地域の皆様に「笑顔と感動」を与える
企業であり続けることを期待しています。



福岡銀行
取締役頭取 柴戸 隆成

1907年(明治40年)

むらもと
邑本松二郎・増太郎兄弟が、合資会社「村本組」を設立。

1949年(昭和24年)

「村本組」の港湾運送部門を母体に「北九州運輸株式会社」を設立。

2002年(平成14年)

新世紀を迎え多機能物流ビジネスのグローバル展開を目指して、社名を
「株式会社ジェネック」に変更。

その後、村本組設立時から我が社と縁の深かった日本郵船株式会社傘下の
グループ企業となり、お客様に対しより高品質な物流サービスをご提供
できる強くしなやかな組織を確立している。

創業の経緯



▲前身の「村本組」本社社屋(昭和20年頃)



株式会社 ジェネック

北部九州に拠点を置き、一般貨物の荷役・輸送から特殊貨物の輸出入まで、さまざまな事業を展開しています。お客様、地域社会、そして社員に愛される企業を目指し、常にお客様のご要望に真摯に耳を傾け、愚直なまでにお応えします。

自社で開発した「ジェネックシールド」は、お客様の輸送コストとCO₂発生の両方を同時に削減できる物流新技術で、今後、この「ジェネックシールド」を新たな用途へ展開してまいります。



▲セメント輸送



- 創 業：1907年
- 設 立：1949年
- 所 在 地：北九州市門司区
- 資 本 金：2億4,200万円
- 従 業 員：247名
- 事業内容：
 - 港湾運送事業、物流事業、
 - 海運事業、その他事業
- 事業拠点：
 - (本 社) 北九州市門司区
 - (営業所) 福岡県、佐賀県、長崎県、
 - 熊本県、大分県、東京都、中国遼寧省
- グループ企業：
 - 九州産業運輸株式会社
 - 九産福岡株式会社
 - 末広海運株式会社
 - 東洋港運株式会社
 - アジアパシフィックマリン株式会社
 - 捷尼克国際物流(大連)有限公司

- 取 引 店：福岡銀行 
 - 門司支店
 - 093-321-3981